

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 3 月 2 日(2022.3.2)

【公開番号】特開 2021-101934(P2021-101934A)
 【公開日】令和 3 年 7 月 15 日(2021.7.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-031
 【出願番号】特願 2019-234997(P2019-234997)
 【国際特許分類】
 A 63 F 7/02(2006.01)
 【FI】
 A 63 F 7/02 320

10

【手続補正書】
 【提出日】令和 4 年 2 月 21 日(2022.2.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

20

遊技者による操作対象とされる操作手段と、
 判定を行う判定手段と、
 前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与し
 うる特典付与手段と、
 前記操作手段に対しての操作受付が許容される受付許容状態で操作受付がなされると、該
 操作受付がなされたことに応じた受付後変化を実行可能な受付状態実行手段と
 を備え、

30

前記受付許容状態においては周期的変化が現れうる画像表示である受付状態関連周期性
 表示が表示可能とされる遊技機であって、

前記受付許容状態として、

前記受付状態関連周期性表示として所定第 1 周期性表示及び所定第 2 周期性表示が表示
 される所定の受付許容状態、及び

前記受付状態関連周期性表示として特定第 1 周期性表示及び特定第 2 周期性表示が表示
 される特定の受付許容状態

が用意されており、

前記所定の受付許容状態が発生する場合、前記所定第 1 周期性表示が表示されるタイミ
 ングと、前記所定第 2 周期性表示が表示されるタイミングとは互いに同じであるとともに
 、前記所定第 1 周期性表示及び前記所定第 2 周期性表示の表示に際しては、前記所定第 1
 周期性表示及び前記所定第 2 周期性表示のいずれとも異なる画像表示である前演出表示が
 表示されて該前演出表示の背後側から前記所定第 1 周期性表示及び前記所定第 2 周期性表
 示が現れるように見える演出が実行されるようになっており、

40

前記特定の受付許容状態が発生する場合、前記特定第 1 周期性表示が表示されるタイミ
 ングと、前記特定第 2 周期性表示が表示されるタイミングとは互いに異なっており、前記
 特定第 1 周期性表示の表示に際しては、当該特定第 1 周期性表示とは別の画像表示である
 前演出表示が表示されて該前演出表示の背後側から当該特定第 1 周期性表示が現れるよう
 に見える演出が実行されるのに対し、前記特定第 2 周期性表示の表示に際しては、当該特
 定第 2 周期性表示とは別の画像表示である前演出表示が表示されて該前演出表示の背後側
 から当該特定第 2 周期性表示が現れるように見える演出が実行されることがないが、前記

50

特定第 1 周期性表示及び前記特定第 2 周期性表示は同じタイミングで非表示にされうようになっている、

さらに、

前記受付許容状態において前記操作手段に対する操作受付が複数回許容されている場合は、該操作手段を操作状態に維持し続けるだけで前記操作受付が特定時間毎になされる場合と、該操作手段を操作状態に維持し続けたとしても前記操作受付が前記特定時間毎になされない場合との両方があるようになっている、

さらに、

前記受付許容状態として、特別の受付許容状態がさらに用意されており、

前記特別の受付許容状態は、特定種別の演出音が可聴出力されているなかで発生する場合と、特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで発生する場合との両方があるが、

前記特別の受付許容状態が発生する時点で終了している前回の図柄変動が第 1 変動パターンで実行されていた場合、当該特別の受付許容状態は、特定種別の演出音が可聴出力されているなかでは発生せず、前記特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで発生する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技者による操作対象とされる操作手段と、

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

前記操作手段に対しての操作受付が許容される受付許容状態で操作受付がなされると、該操作受付がなされたことに応じた受付後変化を実行可能な受付状態実行手段と

を備え、

前記受付許容状態においては周期的変化が現れうる画像表示である受付状態関連周期性表示が表示可能とされる遊技機であって、

前記受付許容状態として、

前記受付状態関連周期性表示として所定第 1 周期性表示及び所定第 2 周期性表示が表示される所定の受付許容状態、及び

前記受付状態関連周期性表示として特定第 1 周期性表示及び特定第 2 周期性表示が表示される特定の受付許容状態

が用意されており、

前記所定の受付許容状態が発生する場合、前記所定第 1 周期性表示が表示されるタイミングと、前記所定第 2 周期性表示が表示されるタイミングとは互いに異なっているが、前記所定第 1 周期性表示及び前記所定第 2 周期性表示の表示に際しては、前記所定第 1 周期性表示及び前記所定第 2 周期性表示のいずれとも異なる画像表示である前演出表示が表示されて該前演出表示の背後側から前記所定第 1 周期性表示及び前記所定第 2 周期性表示がそれぞれ現れるように見える演出が実行されるようになっている、

前記特定の受付許容状態が発生する場合、前記特定第 1 周期性表示が表示されるタイミングと、前記特定第 2 周期性表示が表示されるタイミングとは互いに異なっており、前記特定第 1 周期性表示の表示に際しては、当該特定第 1 周期性表示とは別の画像表示である前演出表示が表示されて該前演出表示の背後側から当該特定第 1 周期性表示が現れるように見える演出が実行されるのに対し、前記特定第 2 周期性表示の表示に際しては、当該特定第 2 周期性表示とは別の画像表示である前演出表示が表示されて該前演出表示の背後側から当該特定第 2 周期性表示が現れるように見える演出が実行されることがないようになっている、

さらに、

前記受付許容状態において前記操作手段に対する操作受付が複数回許容されている場合は、該操作手段を操作状態に維持し続けるだけで前記操作受付が特定時間毎になされる場

10

20

30

40

50

合と、該操作手段を操作状態に維持し続けたとしても前記操作受付が前記特定時間毎になされない場合との両方があるようになっており、

さらに、

前記受付許容状態として、特別の受付許容状態がさらに用意されており、

前記特別の受付許容状態は、特定種別の演出音が可聴出力されているなかで発生する場合と、特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで発生する場合との両方があるが、

前記特別の受付許容状態が発生する時点で終了している前回の図柄変動が第1変動パターンで実行されていた場合、当該特別の受付許容状態は、特定種別の演出音が可聴出力されているなかでは発生せず、前記特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで発生する

10

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような従来の遊技機では、遊技興趣の低下が懸念される。

【手続補正3】

20

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段1：遊技者による操作対象とされる操作手段と、

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

前記操作手段に対しての操作受付が許容される受付許容状態で操作受付がなされると、該操作受付がなされたことに応じた受付後変化を実行可能な受付状態実行手段と

30

を備え、

前記受付許容状態においては周期的変化が現れうる画像表示である受付状態関連周期性表示が表示可能とされる遊技機であって、

前記受付許容状態として、

前記受付状態関連周期性表示として所定第1周期性表示及び所定第2周期性表示が表示される所定の受付許容状態、及び

前記受付状態関連周期性表示として特定第1周期性表示及び特定第2周期性表示が表示される特定の受付許容状態

が用意されており、

40

前記所定の受付許容状態が発生する場合、前記所定第1周期性表示が表示されるタイミングと、前記所定第2周期性表示が表示されるタイミングとは互いに同じであるとともに、前記所定第1周期性表示及び前記所定第2周期性表示の表示に際しては、前記所定第1周期性表示及び前記所定第2周期性表示のいずれとも異なる画像表示である前演出表示が表示されて該前演出表示の背後側から前記所定第1周期性表示及び前記所定第2周期性表示が現れるように見える演出が実行されるようになっており、

前記特定の受付許容状態が発生する場合、前記特定第1周期性表示が表示されるタイミングと、前記特定第2周期性表示が表示されるタイミングとは互いに異なっており、前記特定第1周期性表示の表示に際しては、当該特定第1周期性表示とは別の画像表示である前演出表示が表示されて該前演出表示の背後側から当該特定第1周期性表示が現れるよう

50

に見える演出が実行されるのに対し、前記特定第2周期性表示の表示に際しては、当該特定第2周期性表示とは別の画像表示である前演出表示が表示されて該前演出表示の背後側から当該特定第2周期性表示が現れるように見える演出が実行されることがないが、前記特定第1周期性表示及び前記特定第2周期性表示は同じタイミングで非表示にされうるようになっており、

さらに、

前記受付許容状態において前記操作手段に対する操作受付が複数回許容されている場合は、該操作手段を操作状態に維持し続けるだけで前記操作受付が特定時間毎になされる場合と、該操作手段を操作状態に維持し続けたとしても前記操作受付が前記特定時間毎になされない場合との両方があるようになっており、

10

さらに、

前記受付許容状態として、特別の受付許容状態がさらに用意されており、

前記特別の受付許容状態は、特定種別の演出音が可聴出力されているなかで発生する場合と、特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで発生する場合との両方があるが、

前記特別の受付許容状態が発生する時点で終了している前回の図柄変動が第1変動パターンで実行されていた場合、当該特別の受付許容状態は、特定種別の演出音が可聴出力されているなかでは発生せず、前記特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで発生する

ことを特徴とする遊技機。

20

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

30

40

50